2024 年新春旗開き　メッセージ

日本国家公務員労働組合連合会 中央執行委員長　九後 健治 様

筑波研究学園都市研究機関労働組合協議会旗開きの開催おめでとうございます。貴組織の日頃のご奮闘に敬意を表します。あわせて、私たち国公労連の活動に対する日頃のご支援・ご協力に心から感謝を申し上げます。

2023 年人事院勧告の完全実施を盛り込んだ給与法改正法案が年末の参議院本会議で与党などの賛成多数により可決・成立しました。初任給層への 1 万円以上の上昇は 33 年ぶりとなりましたが、年齢が上昇するに従い俸給表の改定率は逓減するため、俸給表の平均改定率は 0.96 %と 1%にも満たないなど、この間の物価上昇率には遠く及ばず、公務労働者を取り巻く情勢はいまだ非常に厳しいと言わざるをえません。

また、市場原理主義の重視、大幅な規制緩和など新自由主義的政策がすすめられ、行政機関や公務員の削減をはじめ「公務・公共」が切り捨てられてきた結果、国民のいのちやくらしの破壊、権利の後退を招き、こうした経験から本来の「公共性」の回復を求める世論が高まっています。

憲法尊重擁護義務を負う我々国公労働者は、「ふたたび戦争の奉仕者にならない」をスローガンに労働組合としての役割を発揮することが求められています。

国公労連は、公務労働者の賃上げ要求を公務労働者自らが声を上げ、国民春闘に結集して職場・地域でたたかわなければならないと考えています。国家公務員にはスト権は保障されていませんが、組合員一人ひとりがスト権行使に匹敵する決意を持って 2024 年春闘に臨み、労働基本権回復要求とセットで賃金闘争を主体的にたたかうことで、公務労働者の権利回復と諸要求実現を目指し、「労働組合のバージョンアップ」に繋げていく所存です。

この旗開きにより組合員の団結がより強固になることを祈念し、連帯のメッセージとします。

2024 年 1 月 17 日

新しいつくばを創る市民の会 代表　野崎浩司 様

新年おめでとうございます。

また新しい事務所に移転され、新しい環境の下で本日の新春旗開きをお迎えになれたことを心よりお喜び申し上げます。

貴協議会が、研究環境や労働条件の改善に取り組まれとともに、住みやすく働きやすい研究学園づくりにご尽力される活動に、「新しいつくばを創る市民の会」は敬意の念をもち、また励まされております。とりわけ、「つくば地域共同運動連絡会準備会」の事務局として、独自要求の取りまとめをいただきありがとうございます。

新たな年を迎えるにあたり、貴協議会の活動が、より一層のご発展とご活躍をお願いするとともに、私どもも含めた市民運動に対して、適切な課題においてご支援を賜りますことをお願い申し上げます。

共に頑張りましょう！

2024 年 1 月 17 日

新日本婦人の会つくば支部 支部長　横井美喜代 様

新春旗開き、おめでとうございます。

憲法 23 条学問の自由、憲法 21 条集会・結社・表現の自由、検閲の禁止、通信の秘密などが脅かされようとしている今、研究学園都市研究機関協議会の役割は大きなものがあると思います。

ひとりひとりの自由と平和で生きる権利を守るために、私たちも草の根から運動を進めていきたいと思います。

2024 年の旗開きにあたり、連帯のご挨拶を申し上げます。

つくば・市民ネットワーク　代理人（議員）一同

県議　宇野信子 様

市議　皆川幸枝 様

小森谷さやか 様

川村直子 様

あさのえくこ 様

2024 年旗開きおめでとうございます。

年初から大きな災害・事件が相次ぎ、心穏やかではありません。

一方で官民問わず労働環境は厳しさを増し、一人ひとりが大切にされる働き方を実現するために、労働組合の役割はますます大きくなっています。

貴協議会の本年の一層の飛躍をお祈り申し上げます。

日本共産党　つくば市議　橋本　佳子 様

山中　真弓 様

新春旗開きおめでとうございます。

岸田政権の自民党政治資金パーティーをめぐる裏金疑惑は、ついに検察当局を動かし、政権党を揺るがす一大事件に発展しつつあります。巨額の裏金問題は、安倍派、二階派だけでなく、麻生派、岸田派を含めた自民党全体の組織的犯罪だと言うことです。同時に、その中でも安倍派の裏金作りが突出しています。長期に政権を握り、「数の力」で強権的な政治を進めてきた安倍派を支えていたのが巨額の裏金だったことは、許しがたいことです。

日本共産党は 16 日に第 20 回党大会を開会し 18 日に閉会します。自民党政治を追いつめていくために①金権腐敗政治の徹底究明、企業・団体献金の全面禁止、②「失われた３０年」を打開し、暮らしに希望が見える政治を、③平和も暮らしも壊す大軍拡、「戦争する国づくり」を許さず、外交で平和をつくる、④人権後進国から先進国への４つの柱で国民的大運動を大きく発展させることが提起されました。

物価の高騰で暮らしが大変、低賃金の非正規職員が増え８時間働けば普通の暮らしができるなど到底無理な話です。元日に起きた能登半島地震では改めて原発の耐震性の弱さが明るみになっています。基礎研究が大事にされ時間をかけた有意義な研究が保障され、軍事増強に歯止めをかけ平和な日本へ舵を変えるために皆さんと力を合わせます。今年もよろしくお願い致します。

２０２４年１月１７日